

細菌性赤痢の発生について

1 概要

令和8年8月3日 県内医療機関から福井市保健所に対し、患者から細菌性赤痢菌を検出した旨、届出があり、患者の健康状態、行動等について調査を実施しました。

2 患者等の状況

① 患者 市内在住の方 20代男性 1人

主な症状：発熱、下痢、腹痛、頭痛、吐き気、倦怠感
※回復してきている。

初診日	便検査	
	便検査開始	赤痢菌確認
7月29日	7月29日	8月3日

② 接触者の健康状況（本人除く）

2名に症状なし。（2名に対し検便を実施）

3 発生に伴う対応

福井市保健所において、下記の措置を実施しました。

- ① 本人の健康状態、行動及び喫食状況の調査
- ② 接触者の健康状態調査及び衛生教育
- ③ 消毒の指示

※その原因については現在調査中です。

4 本市内における細菌性赤痢の発生状況（令和8年8月4日現在 本件含む）

		令和6年	令和7年 (全国は暫定値)	令和8年 (全国は8月4日現在の 暫定値)	参考 (昨年同期)
全国	届出数(人)	74	59	42	31
県	届出数(人)	0	0	1	0
市	届出数(人)	0	0	1	0
	有症者(人)	0	0	1	0
	無症者(人)	0	0	0	0

5 感染症予防について

以下のことについて注意喚起をお願いします。

- ・不衛生な食品・生の食品などの摂取を避けることが重要です。また、旅行の際には無理な日程などによって体調を崩すことがないように心掛けることも大切です。
- ・細菌性赤痢が流行している国（アジアが多い）では、生水、氷、生の魚介類（刺身・エビなど）、カットフルーツ、生野菜は避けましょう。屋台のヨーグルト飲料や氷で感染した例も報告されています。